



菩提寺まちづくり協議会

平成22年9月25日

まち協だより 9号

事務局 菩提寺まちづくりセンター内 Tel 0748-60-1381

発行責任者 事務局長 田畑 一佳

☆ 安全環境委員会 委員長 藤原 光司

破壊された道路



震源地 淡路島の北淡震災記念公園 見学

5月30日 昨年に引き続き先進地研修を行いました。場所は、淡路島の北淡震災記念公園です。各区分から、男性31名 女性12名の参加がありました。

1995年1月17日朝5時45分に発生した阪神・淡路大震災の震源地で、国から天然記念物『野島断層』に指定され、当時のまま保存されています。また、公園には断層の真横にありながら、崩壊しなかった家が当時のままに『メモリアルハウス』として展示されていて、改めて地震の恐ろしさを感じました。その他、震度7も体験出来ました。震災の記憶を風化させないため、またその教訓と防災の意識を後世に伝えるために、『神戸の壁』も移築・保存されています。

見学終了後、区毎に分かれてミーティングを行い、今回の感想・自治会で不足している事・実施していきたい事などについて話し合い、グループ毎に発表

をしていただきました。

※『神戸の壁』は、昭和3年に神戸市長田区に延焼防火壁として設置された。太平洋戦争の神戸大空襲にも耐え、今度の阪神・淡路大震災でも周りの建物が崩壊する中、この壁だけはその姿を留めた。



メモリアルハウス

今後の活動予定

まちづくりセンター祭りの第1日目
(11月13日 土曜)

◎ 防災関係の講演会

『滋賀県で地震が起きたら・・・』

◎ 防災グッズの展示

是非、多くの方に参加して頂きますようお願い致します。



神戸の壁

日本の石塔でも珍しい多宝塔

菩提禅寺 住職 安部 正毅 師

歴史の小径を進むと、すぐ左の小高いところに見えてくる石塔がある。この塔が多宝塔である。この塔について、古老から言い伝えられていることを少し紹介しておこう。

年代ははっきりしないが大正の末期から昭和の初期、塔の宝珠部分だけが地上に出ている。土地の所有者が山に入る度によくつまづいていた。仕方なく掘り起こすことを思いついた。掘り進んでいくうちに、九輪、請花、覆鉢と出てきた。これは何かあるなと気づき、さらに掘り続けると大きな石の塔であったというお話があります。

その後、いろいろ調査が進み、現在は「国指定 重要美術品建造物」となっています。建立された年代は、仁治 2 年（1241 年）7

月と記されています。願主 僧良金、施主 日量氏女、寄進日公主、吟行院、頂祥院、浄陀羅尼院、祥禅院、観音坊、弥勒棒、妙観坊、行岸院、行能蒞光坊、少納言、大光坊親子、慈眼坊等の寄進協力がなされていると書かれています。

日本に 2 塔しかないといわれている多宝塔の一つであり、後 1 塔は長野県上田市にある天台宗別格本山常楽寺の境内に建立されています。多宝塔の類例は全国的に見ても少なく、特に重要文化財指定となると滋賀県 菩提寺と長野県 常楽寺の 2 基に過ぎない。さらに本塔は笠や裳階が鎌倉時代の多宝塔の典型を示しており、全国的に見ても大変貴重な遺例である。

（此度までお付き合い、大変有難う御座いました。 安部）



この号をもちまして、安部禅師のお話はしばらくお休みとなります。安部様、長い間お世話になりました。今後ともよろしくお願いします。

☆ 人づくり委員会

委員長 廣瀬 保

森林環境学習「やまのこ」 間伐ボランティア活動

小学校4年生を対象とした体験的な森林環境学習「やまのこ」のボランティアに、人づくり委員会が参加し始めて2年目です。今年は菩提寺小学校が6月28日、菩提寺北小学校が7月22日に行われ参加いたしました。



間伐する前の注意を聞く生徒達

この学習のねらいは、森林に入り木や草花などにふれて興味や親しみを持ったり、森林での体験を通して森林のはたらきや重要性について理解することである。

- ① 森林の中の危険性に気づき、回避する力を身につける。
- ② ルールを守り、優しさや思いやり、協力し合う心をはぐくむ。

間伐する重要性を叩き込まれ、子どもたちと森林に入り、樹齢20年程度の桧をのこぎりで切り倒し木の皮をはぎます。きれいな木肌があらわれ樹液が出てくるので、動物になった気分です。木をなめてみると、ほんのりと甘味を感じる

ことが出来ました。

森林学習が子どもたちには強い印象として残り、楽しい一日だったようでした。



木を倒す方向にロープを張り
木を切る生徒達

ご 注 意 !!

この頃、菩提寺内を横行するもの

イノシシ、サル、そして アナグマ

7月末には、とうとう アナグマ も出現!!
中型犬位のアナグマが、鶉飼農園横の川沿いをうろついた後、山の中へ姿を消したとか。



因みに、タヌキ汁はこのアナグマの肉だった。

☆ 地域活性化委員会



委員長 浅井 基義



大盛況のフリーマーケット！！

7月25日（日）に、第1回フリーマーケットを菩提寺商店会さんと共同で開催することが出来ました。大勢の方にお越し頂き、地域の交流の場になったと思います。

また、当日は大変暑い日でしたが、出店者の皆様に奮闘して頂き、また菩提寺の朝市会、水無月会の皆様にも、新鮮野菜と地元特産品の販売をして頂きました。まち協からは、かき氷の販売と生ごみリサイクルの実演展示を行い、第1回目のフリーマーケットとしては、盛況に開催することができました。



生ごみリサイクル講習会の案内

日時 10月2日（土）9時30分～
場所 菩提寺まちづくりセンター
詳細 回覧等で案内を行う予定

皆様、生ごみリサイクルに挑戦して見ましょう。

お問い合わせは まちづくりセンター内
菩提寺まち協事務所 まで
TEL・FAX 60-1381
不在時は、留守電にご用件を伝言して
下さい。後日、連絡いたします。

プレイガイド菩提寺

- ※ 4区合同運動会 10月17日
(イワタニ・北山・サイド・三上)
- ※ 第10回 秋ゆうゆう展
場所 菩提寺周辺
期間 10月22日(金)～24日(日)
出展者 8名の地元作家とゲスト作家
同時開催 各作家の作品の
チャリティオークション
- ※ 菩提寺まちづくりセンター祭り
11月13日（土）～14日（日）
- ※ 菩提寺地区親善ソフトボール大会
11月7日（日） 多目的広場
- ※ 近江台区 文化祭
11月に予定

あとがき

わが家が生ごみリサイクルを始めて、もうすぐ一年になります。最初は半信半疑でやっていたのですが、固形の生ごみが徐々に土に変わっていくと愛着がでてきます。その土を触ると温かい。つまりちゃんと発酵しているんです。感動しました。捨てれば単なる生ごみ。でも、ちょっと手をかけてやるだけで有効な資源となり得るのです。

「エコ」が身近に思えてきました。その土から栄養をもらってすくすく育ったこの夏のトマトとキュウリ、親子で美味しくいただきました。ご近所さんへのおすそ分けが目標です。

E・M